

評価項目の達成及び取り組み状況

A：十分達成されている B：達成されている C：取り組まれているが成果は十分でない D：取組が不十分である

	評価項目	内容	結果	説明
1 子ども の 発 達 援 助	①発達援助の 基本	○一人一人の園児の発達状況に配慮した指導計画を作成し、定期的に評価を行い、その結果に基づき指導計画の見直しを行って実践に活かす。	B	・子ども達の姿から年、月、週の計画を作成して実践してきた。週ごとの振り返りを学年間で連携して次の実践に活かすようにしている。 ・子ども達がどのように育っているのか評価しながら次の活動の工夫をし、遊びをつなげ広げていきたい。
	②健康管理・ 食育	○一人ひとりの実態に応じた健康管理を行う。 ○食育年間計画を基に、意欲をもって食に関わる経験を積み、食事を楽しむ子どもに育てる。	A	・家庭で記入していただく健康観察カード（乳児は連絡帳）や登園時の検温、視診、保育中の観察など一人ひとり健康状態を把握し対応した。 ・年長児が栽培した野菜で給食材料として使い、給食献立を三色食品に分類して食への興味を高めるように取り組んだ。個に応じて給食の量を調節するなど楽しく食事をする園児も増えている。
	③教育・保育 の環境と内容	○園児が安心して安全に過ごす環境を整える。	A	・毎月の安全点検等で安全を懸念される箇所が見つかった時は直ぐに対応していった。
○園児が自主的に活動できる環境の工夫をする。 ○園児一人ひとりを受容し理解を深めた働きやきっかけや援助をする。 ○地域の教育力を活かした教育・保育内容を構築する。		B	・子どもの遊びを途切れさせず、遊びこめる様に計画の変更を柔軟に行った。 ・園庭環境を整備している途中段階である。子どもの自主性を受容できるよう考え、早急に環境を整えていきたい。 ・今後地域の教育力を活かしていける保育ができるように努めていきたい。	
2 小 学 校 と の 連 携	①園・小連携 接続	○アプローチカリキュラムをもとに取り組みを進める。	B	・小中へと育ちをつなぐ意識はもっているが、カリキュラムの見直しが不十分である。将来に向けて育みたい力を園でどのように取り組んでいくのかを職員で共有していく。
		○小学校との連携を円滑に行う。	B	・小学校の先生が実際の園での子どもの様子を見学に来られた事その際に、保育のねらいや状況を共有できた事はよかった。 ・小学校との交流活動を増やし、子ども同士がもっと繋がることを課題としていきたい。

3 子育て支援	①保護者との信頼関係	○保護者との連携や情報交換を行いながら教育・保育に関する理解を得る。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時等を利用して日々の子どもの様子を伝えていている。個人懇談で保護者の思いを聞いたり園の取組を伝えたりしている。 ・保護者懇談会では、育児の悩みや不安なども話し合い思いを共有できるように進めている。
	②地域の子育て支援	○地域の子育て家庭への支援を行う。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭開放を週1回実施できた。毎回楽しみに来てくださる家庭もある。 ・地域への子育て支援を今後どのように進めるか考えていく。
4 子どもの安全	①危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ○避難訓練や交通安全指導を計画に基づいて適切に実施する。 ○月1回の安全点検などにより、危機を回避する体制をつくる。 ○危機管理マニュアルに基づいた研修を実施することで職員の危機対応力を高める。 ○食中毒や感染症に対する予防や対策についてマニュアルに基づき適切に実地する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に確実に実施している。実施後の振り返りを次の訓練や指導の充実、職員の危機意識の向上につなぐことができるようにしなければならない。 ・年度当初、安全点検の方法・内容を見直した。多くの職員が点検に関わり、危険箇所等への対応が早く確実にできるようにしている。 ・感染症予防に対する研修報告を共有し、職員一人ひとりの意識を高めていった。 ・園内の感染者数や流行している病気を記したボードを門に掲示し、保護者に注意を促している。
5 運営管理	①組織運営	○保育・教育目標に基づき職員が意識統一のもと協議する。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教頭・保育教諭が中心となり、常に組織が一体化するよう運営を進めることができた。 ・職員間での信頼関係の構築ができており、情報共有や保育の方向性の確認ができています。
	②サービス管理	○サービスに係る研修を充実させる	B	<ul style="list-style-type: none"> ・保育教諭として、定期的に保育・教育の振り返りを実地し、問題点があれば会議で協議することができた。 ・年間で計画された研修を受け、その報告をすることでより高度な保育・教育の充実を図っている。